

ヒトデータのための アノテーション設計 支援事業

顔画像・音声・生体信号などのヒトデータを用いた
研究・AI活用につながる学習データづくりを
設計段階から伴走します

PRESENTED BY

 オルチェ人間情報技研

このような**ヒトデータ**を扱っていませんか？

研究開発やAI活用において、右のような
「**ヒト**」に関する**データ**の取り扱いや処理が必要となる場面が増えています。



顔画像・映像

カメラで取得した表情、視線、人物
特定のための画像データなど



身体動作・姿勢

歩行分析、ジェスチャー、行動ロ
グ、ボーン推定データなど



音声・発話

会話内容、声のトーン、感情分析の
ための波形データなど



生体信号

心拍、脳波、皮膚電位、体温などの
バイタルデータ全般

ヒトデータ活用、こんなところで止まっていませんか？

貴重なデータを収集できても、
いざAI開発や研究へ活かそうとすると
右のような

「アノテーションの壁」
に直面するケースが多くあります。

アノテーションは、生データを研究や
AI・システム開発に使える学習データへ
変換するための工程。

この設計次第で研究・AI活用・ビジネス
化を進められるかが決まる、重要な工程
だからこそ、丁寧に進めていく必要があります。



ビジネスへの活かし方が 分からない

データは取得できているが、どのよ
うにビジネスに活用すればよいかが
わからない



設計の迷い

学習データ化のための要件定義や設
計図が描けない
何を、どの程度の細かさ（粒度）で
アノテーションすべきか判断できな
い



内製が難しい

アノテーション作業は膨大な手間が
かかり、研究者や社員のリソースを
圧迫する



取扱いの不安

個人情報やデリケートな生体データ
の扱い・セキュリティ管理に不安が
ある

オルチェのアノテーション設計支援

創業以来、ヒト理解を専門に研究・開発を担ってきたオルチェ。

だからこそ、ヒト理解に特化した領域で、

お客様ごとの目的に合わせてアノテーションを設計し、

開発まで一貫して関わっていくことができます。



生データの取得
計測条件



アノテーション設計
観測項目・判断基準・粒度



アノテーション実施



解析・AI活用検証



PoC
システム化



観測項目・判断基準・粒度の整理

曖昧になりがちな人の主観や判断基準を言語化し、データ定義として明確化します。



学習・検証に活きるデータ整備

独自のヒトデータ（合成データ）生成技術を用いて、アノテーション設計と整合した形で、効果的に学習データを拡張することができます。



プロジェクトへの伴走支援

アノテーション設計だけでなく、その後の開発工程までサポート可能です。

※ データ取得前の企画段階から、取得済みデータの加工・再定義、開発まで幅広く対応可能です。

詳しくは、 資料をご請求ください

オルチェ独自の
アノテーション設計支援の考え方や、
具体的な事例についてのご紹介資料を
お送りします。

ご関心のある方は、
ぜひお気軽にお問い合わせください。



サービス紹介資料・事例集

PDF形式にてお送りいたします

✉ お問い合わせ・資料請求はこちら

info@ouche.co.jp

株式会社オルチェ人間情報技研
担当：事業開発部